

有間町の整備計画について。

平成20年度より行われてきた矢作川河畔林整備の平成22年度の対象箇所は、旭地区の有間町です。平成19年度矢作川河畔林整備行動計画に基づき行われたワークショップでの意見交換、現地での竹林伐採を通じて、住民と行政との共働による整備計画の内容をお伝えします。



ワークショップの意見をもとに
将来の整備イメージを作成



- 竹の伐採についての意見
・あまりに広大な竹林だが、地元を主体に、漁協なども協力して伐採していきたい。
- 将来的には、下流側は旧渡し場や水神様、上流側は有平橋の方へ道をつなげていきたい。
- 管理用通路についての意見
・河畔林（竹林）の中央付近に、川と並行に通る道をつくりたい。
・水辺と河畔林中央の道をつなげる小路をつくりたい。
・管理用通路は、伐採する竹などを効率よく運ぶために、軽トラツクが通ることができるようになりたい。



▲ワークショップの状況



▲ワークショップの状況

平成22年度の活動経緯-①

- 整備の目標についての意見
・繁茂した竹林を間伐し、対岸からの景観を良くしたい。
- 整備のスケジュールについての意見
・ある程度の伐採が進んだ段階で、整備の範囲を決めていきたい。
・10年程度を目標に管理・伐採を行っていく。

計画を話し合いました。

あまみ

矢作川河畔林整備事業

第9号

平成23年3月15日



平成22年度の活動経緯-②

管理用通路の工事が進んでいます！

現場立ち合い

住民立会いのもと、工事請負業者との打合せを行います。

通路・広場の造成

管理用通路3～広場1

河畔林の適切な維持管理を行うための管理用通路や、通路同士をつなぐ広場の造成を行っています。



▲管理用通路の位置などについて確認。



▲大きな円形状の広場1ができました。



▲広場からは青空が見えます！



昨年行われた2回のワークショップで話し合った結果を整備計画図にとりまとめ、市と相談しながら平成22年度整備する範囲を決定しました。
 将来的には川沿いの管理用通路や、川下へとつづく小路の整備を行い、密集しすぎている竹の適切な維持管理を続けていく予定です。

官民共働による河畔林整備を

行っています。

平面計画図（今年度～将来構想）

- : 現道
- : 平成22年度整備範囲
- : 水路
- : 平成23年度以降の計画



管理用通路2～広場3



▲軽トラックが通行できる管理用通路ができました！



▲急な勾配のところは、石を用いた階段で通路をつなげます。

広場4～管理用通路2



▲伐採前の状況



▲伐採後、広い進入路の入口ができました。

河畔林整備について 知ろう！



伐採を進めて、川が見渡せるようになった小川
 草原は千ヨウたちの蜜源です。



ニリンソウ
 枯れた竹を取り除いて間伐すると光が入り、林内に草花が見られるようになります。



ヤマセミ

矢作川の上流に生息する希少な鳥で、川辺の木にとまって川の中の魚を狙います。

河畔林の手入れが進めば、散歩中には会えるかも！

お問い合わせ

矢作川河畔林整備事業についてのご意見、ご感想等お気軽にご連絡ください。

豊田市 建設部 河川課
 (計画担当：北村、伊藤)

でんわ:0565-34-6672 / FAX:0565-33-2460

(矢作川研究所：宮田、内田)

でんわ:0565-34-6860 / FAX:0565-34-6028

◆カワセミはコバルトグリーン美しい鳥で、川辺や石の上からダイビングして、水中の魚や水生昆虫をとらえます。
 ◆「かわせみ」は、豊田市が行う矢作川河畔林整備事業において、カワセミのように川に接する機会が多い地域のみならず、みなさまの視点でとらえた意見をお知らせするために制作されました。

お知らせ

今回ご紹介した河畔林整備は、平成23年度も引き続き整備を行っていく予定です。みなさんと話し合った将来構想を目標として、官民一体となって取り組んでいきます。